

表-3 ダストモニタによる大気中の放射性物質の濃度の評価結果  
 (ZnS(Ag)シンチレーション検出器及びプラスチックシンチレーション  
 検出器による人工全ベータ放射能濃度推定値<sup>※1)</sup>)

調査 機関	局名	人工全ベータ放射能濃度推定値 <sup>※2</sup>						発電所起因 <sup>※4</sup> データ数(個)			
		確認開始 設定値 <sup>※3</sup> (Bq/m <sup>3</sup> )	超過数(個)					1月	2月	3月	合計
			1月	2月	3月	合計	割合(%)				
宮 城 県	飯子浜	5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0
	鮫浦	5	0	0	0	0	0.00	0	0	0	0

- ※1 今期の全データ数は、欠測がないものとして2160個/局である。
- ※2 人工全ベータ放射能濃度推定値＝全ベータ放射能濃度－自然全ベータ放射能濃度推定値  
 なお、自然全ベータ放射能濃度推定値とは、全アルファ放射能濃度を過去数年間の測定値を用いた  
 近似式に当てはめて算出した全ベータ放射能濃度である。
- ※3 人工全ベータ放射能濃度推定値が上昇した場合、発電所起因の有無を判断するために、原因調査を  
 開始するための設定値であり、原子力災害対策指針補足参考資料「平常時のモニタリングについて」  
 (原子力規制庁監視情報課、令和3年12月21日改訂)に基づき、5Bq/m<sup>3</sup>としている。
- ※4 発電所起因の有無については、発電所運転状況及び気象等を用いて評価している。

令和7年度